

「シングルマザーは、父親がい
ない分、完璧な親になろうと
育つ中で、うち3人はシング
ルマザーだ。」

「**一歩進んだサービス**」

「家計の足し、というより生き
ることが就労目的だから、お客
さんを大切に思う気持ちが強い。
一歩進んだサービスができる」

**エニーズ 社長
川崎昌子さん**

「やる気を保つコツは、小
さな課題をコマメに達成
すること」と話す川崎さん
(右)。社員向けプログラムで
課題を授ける。大学生の
娘には、「料理の手抜きを
しないことが、母親として
示すことのできるせめても
の愛情です」



がんばりすぎて、子どもも自分
も息がつまってしまふときがあ
る。力の抜き加減や、子どもと
のかかわり方といった情報交換
ができるから、働き続けてこら
れたのかも知れません」

中島信一社長は、

直営店10店舗のうち、現在3
店舗でシングルマザーとオーナ
ー契約を結ぶ。

05年に実施された国勢調査に
よると、シングルマザーの人口
は118万人。厚生労働省の発
表(06年度)では、シングルマ
ザーの就業率が84・5%と、男
女の合計57%よりも高かった。
しかし、半数以上が非正規雇用。
07年のシングルマザーの平均所
得は243万円と、全世帯平均
556万円の半分以下の水準に
とどまっている。

そんな中、古くからシング
ルマザーを積極的に雇っているの
が、石川県七尾市の老舗温泉旅
館、加賀屋だ。

日本海に面し、創業103年
のこの旅館の目玉は「べたべた
サービス」。チェックインから
アウトまで同じ客室係が担当
客の要望に合わせたサービスを
する。中核となるのが、企業内
保育園つき母子寮「カンガル
ハウス」の若い母親たちだ。

マイホームも建てた

40年以上女将を務める小田真
弓さんは、こう話す。

「従業員の定着率が高ければ、
いいサービスができる。お客様
から礼状が多く届くのがカンガ
ルーハウスの母親たちですね」

ベアーズ 専務取締役 高橋ゆきさん

「個人のお宅の笑顔を預かる仕事だから、職場でもア
ットホームさを忘れないうえに」という高橋さんの
娘も会社遊びにきた



保育園は創設80年、母子寮を
併設して23年になる。客室係の
杉浦由美子さん(39)は9年前、
離婚を機に、当時小学3年と、
中学3年だった息子たちを連れ、
滋賀県から越してきた。
母子寮を経て、現在は念願の
マイホームを建てて暮らしてい
るが、息子が小学生のころは保
育園が朝晩の食事を出し、お風
呂に入れ、帰りが遅いときは深
夜まで預かってくれた。

「辞めたいと思ったことはない。
子どもの環境をまた変えること
になり、申し訳ないから」
客室係約140人のなかで、
杉浦さんは「月間売り上げ1位」
を過去15回以上取り、常に営業
成績は上位。担当の客が宴会や
カラオケで利用した金額が売り
上げ額。報酬とは無関係だが、
常に1番をめざしてきた。
「聞き上手になるよう心がけて
います。お客さんとの会話や寮



photo 篠塚ようこ(下)

雇用



加賀屋 客室係
杉浦由美子さん
「人と話をするのが好きで、お客様のお帰りにお茶を淹れてあげたい。子どもが生まれてからは、お友達と遊ぶのが好きです。何でも話します。素直に育ってほしいです。」

開気からヒントを得て、自分のサプライズを演出します」誕生日祝いなら旅館専属のメキシコ人楽団を呼んで、パースデーソングを一緒に歌う。社員旅行なら、カラオケにつきあつて盛り上げる。還暦祝いの夫婦にはさりげなく記念品を渡す、というふうだ。

客室係の初任給は20万円。杉浦さんの現在の月取は28万円だ。目標は、息子を2人とも大学に入れることだった。今年春、次男が大学に入学した。あとは海外旅行にも連れていきたい。

賞味期限ないキャリア

「シングルマザーが一生続けられるキャリアを育成したい」そう考えた大阪市のシングルマザー、川崎昌子さんは、女性向けオーダーメイドのビジネス

「シングルマザーが一生続けられるキャリアを育成したい」そう考えた大阪市のシングルマザー、川崎昌子さんは、女性向けオーダーメイドのビジネス

も雇うわけではない。10年後の自分自身のイメージや、目標を見据えているから、その人の成長に大きな差がでます」さらにシングルマザーであることが「プラスになる」と、雇用を支援しているのが、家事代行サービスを担うベアーズ(東京都)だ。専務取締役の高橋ゆきさん(41)は、夫がアメリカ留学をしていた10年前、「疑似シングルマザー」体験をした。2人の子どもを抱えて働きながらハウスクリーニングや家政婦を頼んでみたが、信頼して任せら

服を販売する「エニーズ」を02年に創業。そこで「キャリアリスト」という職業を作った。サイズを測るだけではなく、職業や趣味を聞き、キャラクターをいかしたスーツを提案する仕事。25人のキャリアリストのうち、半数以上がシングルマザーだ。かつてはインポートブティックを経営していた。雇った販売員は偶然にも、ほとんどがシングルマザー。しかし販売員は見た目年齢が勝負。30〜35歳で交代する。賞味期限がないキャリアをつくらなければ。それがキャリアリストの発想に結びついた。川崎さんのもとは、多くのシングルマザーが訪れる。

「君、顔がマズくなってない?」高橋さんの顔からは、笑顔が消えていた。その一言がきっかけとなり、夫婦で立ち上げたのが、いまの会社だ。需要は増え、関東、関西圏で2300

れる委託サービスはなかった。一時帰国した夫が言った。「責任感が強いシングルマザーこそ、ライフハッピーバランスの大切さがわかる。人を笑顔にするゆとりを提供する仕事だからこそ、人生経験豊かな彼女たちの力が必要なのです」

就職・転職支援サイト「はぴシェア」を立ち上げ、そのなかでシングルマザーに特化した人材紹介事業を始めたのは、昨年9月でした。企業の採用意欲は冷え込んでいますが、一方で、シングルマザーを注目マーケットととらえる企業も増えつつあります。とくに、流通、サービス業では人材の不足感が強いとの報告も。そうした企業は、シングルマザーが「一家の大黒柱」として意欲が高いことをお伝えし、人材を紹介します。この事業を立ち上げたきっかけは、私自身がシングルマザーなので、その経験を活かしたいという思いがあったこと。そして同僚だったシングルマザーが、働くことに迷っていたので、前向きで真剣だった

人の家事代行を請け負う「ベアーズレイ」を派遣している。「責任感が強いシングルマザーこそ、ライフハッピーバランスの大切さがわかる。人を笑顔にするゆとりを提供する仕事だからこそ、人生経験豊かな彼女たちの力が必要なのです」

**人材紹介業の秋田文子さんに聞く
流通、サービスもねらい目
「大黒柱」の雇用は今後拡大**

姿に心を動かされたこともひとつです。現在、登録者は200人を超え、市場の大きな可能性を感じています。登録求職者には、働ける環境の確認、スキルや経験、ご本人の要望などを考慮して、現状をみながらアドバイスをしています。希望職種は事務系とする人が多いですが、それは、多様な職種を知らないことが一因。営業職をはじめ、女性ならではのコミュニケーション力や細やかさが活かせる仕事があることを伝えていきます。

就業環境を考えると、保育園の待機など、厳しい現実もあります。就職を真剣に考えるシングルマザーの人生設計を応援する紹介会社を目指していきたいと思っています。

「責任感が強いシングルマザーこそ、ライフハッピーバランスの大切さがわかる。人を笑顔にするゆとりを提供する仕事だからこそ、人生経験豊かな彼女たちの力が必要なのです」